

【平成27年度】

林道事業

※実施箇所の下線部をクリックすると位置図を表示します。

整理番号	事業名	実施主体	実施箇所	事業内容	事業実施目的	事業予定計画	全体事業費 (百万円)	計画 (実績)	
								事業費 (百万円)	事業内容
1	森林管理道 目梨別線 開設事業	豊富町	<u>字有明</u>	車道幅員 3.00m 延長 3,822m	本林道の利用区域内の森林の機能区分は育成林で構成され、資源循環としての機能や、森林の持つ公益的機能の発揮が期待される林道です。利用区域内は、7齢級以上の針葉樹と天然林が全体の60%を占めている。本地区は作業道により造林等を実施していたが、幹線的な林道が未整備なため適正な森林管理が行われなかったが、本林道の開設により間伐等を主体とした計画的森林施業が行うことが出来、収益性の高い多面的な機能を発揮出来る森林になることが期待されています。	H21 ～ H30	401	54 (51)	延長 1007m (1007m)
2	森林管理道 弥生線 開設事業	中頓別町	<u>字弥生</u>	車道幅員 3.00m 延長 5,698m	本林道の利用区域内の森林は、森と人との共生林として保健文化機能の増進が求められています。この森林は多様な樹種・林層よりなり、林木が適度な間隔で配置されている郷土樹種を主体とする多様な森林であり、原生的な自然環境を保持し多様な野生生物の生息している森で、諸被害に対する抵抗力が高い森林へと誘導するために必要な林道です。	H18 ～ H28	420	27 (27)	延長 0m (40m)
3	森林管理道 新生線 開設事業	豊富町	<u>新生</u>	車道幅員 3.00m 延長 4,800m	本林道の利用区域内の森林は、殆どが利用伐期に達している林分の人工林であり、森林の機能向上を計る上で持続可能な資源循環型森林に誘導するために必要な林道です。本林道の開設により造林、保育、間伐、伐採等の計画的施業が可能となり収益性の高い森林造成が図られます。	H27 ～ H32	290	27 (27)	測量 4800m (4,800m)